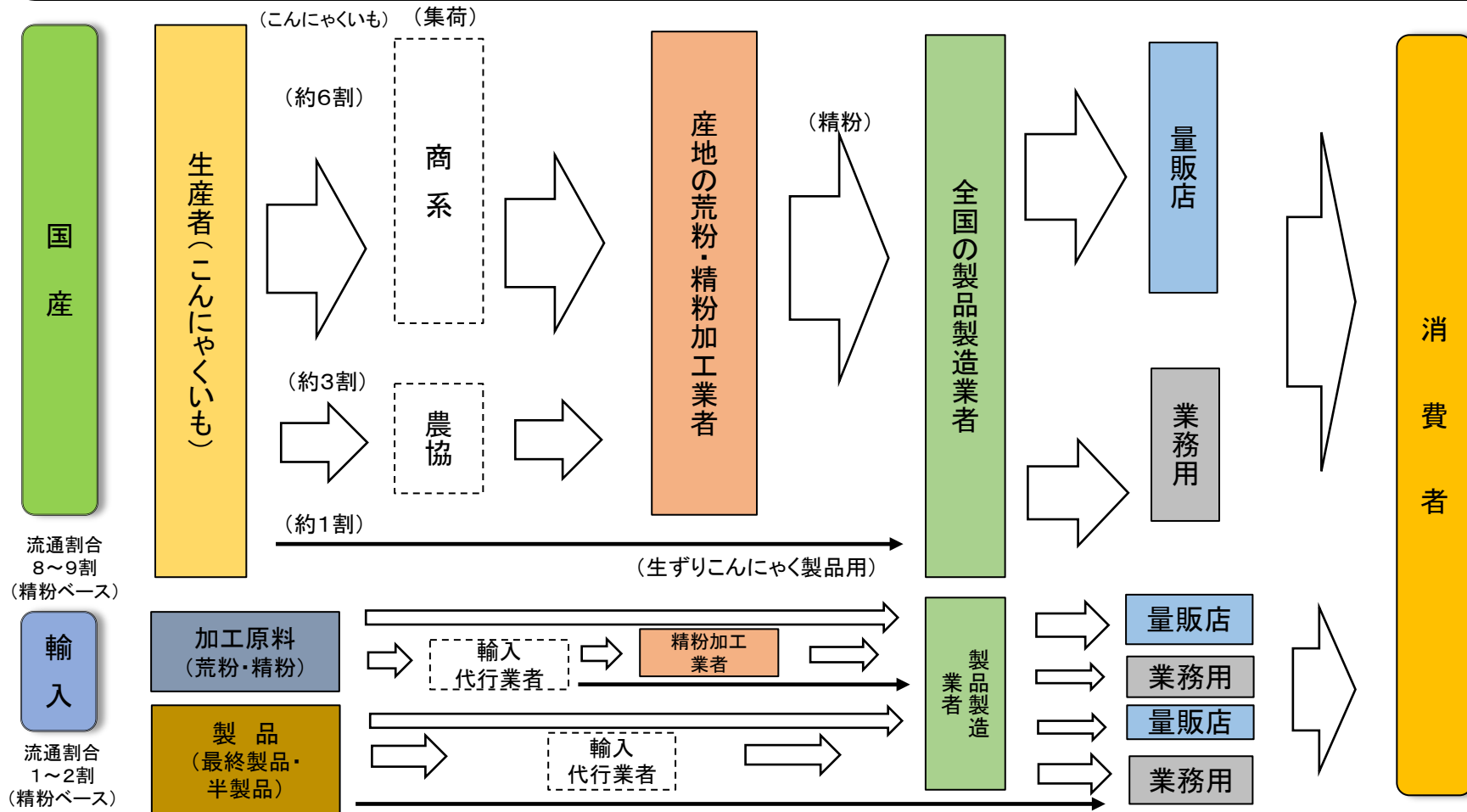


こんにゃくをめぐる事情

令和7年7月
農林水産省

1 こんにゃくの流通状況

- 国産こんにゃくいもは、産地の荒粉・精粉加工業者が買い取り、精粉（こんにゃく粉）に加工される。精粉は全国の製品製造業者により板こんにゃくななどの製品に加工され、スーパー等の量販店へ卸される。
- 輸入こんにゃくいも（荒粉又は精粉の状態で輸入）は、精粉加工業者が輸入して加工されるほか、低品質な精粉はアルコール洗浄の上、直接製品製造業者へ販売される。
- こんにゃく製品については、バルクで輸入し、製品製造業者が小分け包装し最終製品として、量販店等へ卸される。

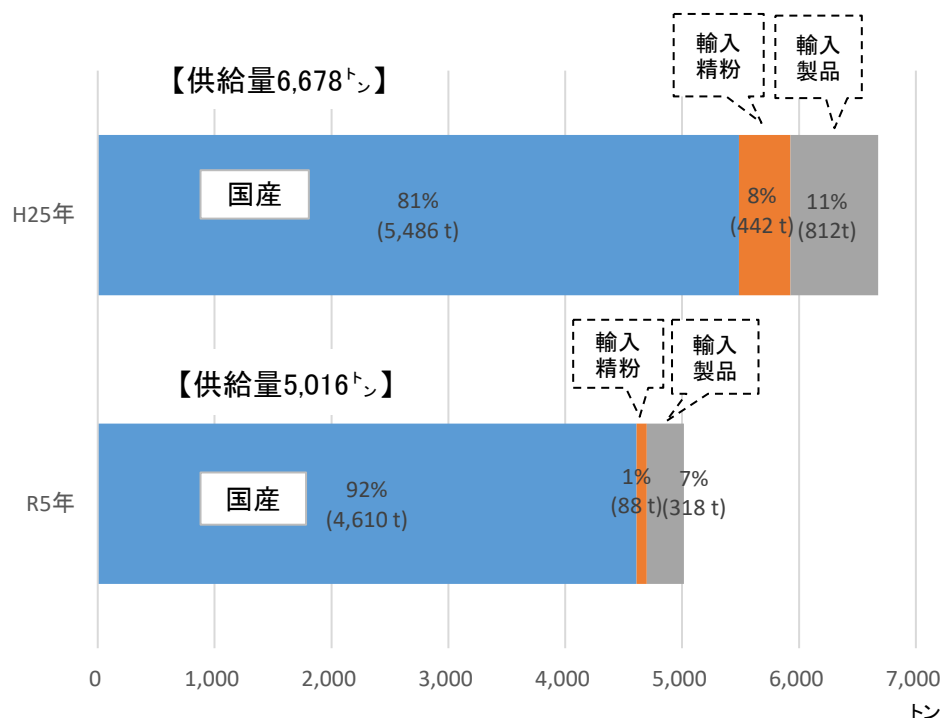


2 需要動向

- こんにゃくいもの供給量（精粉換算）は、**直近10年間でみると、全体で約3割減少**し、令和5年は約5千トン、このうち国産は約4.6千トン、輸入品が約0.4千トンとなっている。一方で、**国産シェアは約9割と上昇**している。
- 業界団体の調べによると、**近年、期末在庫量が増加**し、令和元年から年間需要量と同程度となり、**令和4年以降は年間需要量を上回った量が積み上がっている。**
- こんにゃく製品のうち、**板こんにゃくの小売価格は、直近10年間では横ばい**で推移。

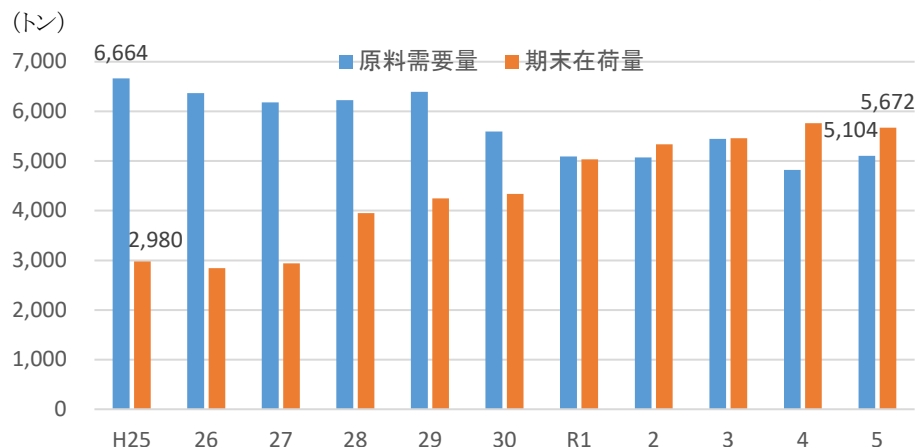
【こんにゃくいもの供給状況(精粉換算)】

直近10年間で、供給量は約3割減少する一方、国産シェアは増加



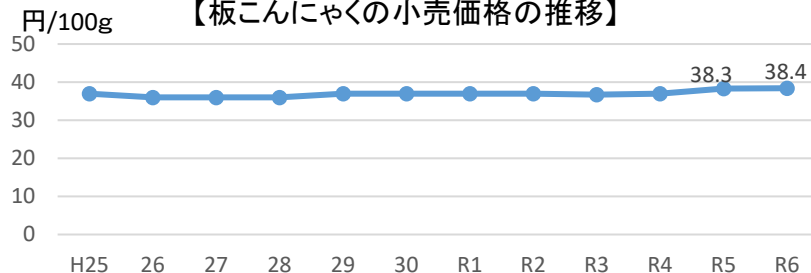
資料：(一財)日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」
 注1：こんにゃくいもの輸入品は、粉の状態で輸入されている。
 注2：輸入こんにゃく製品分は、輸入数量を精粉換算(製品倍率33倍)し算出
 注3：年は当該年の11月から翌年10月まで

【こんにゃくいもの原料需要量・期末在庫量の推移(精粉換算)】



資料：(一財)日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」
 注：当該年の11月から翌年10月まで

【板こんにゃくの小売価格の推移】

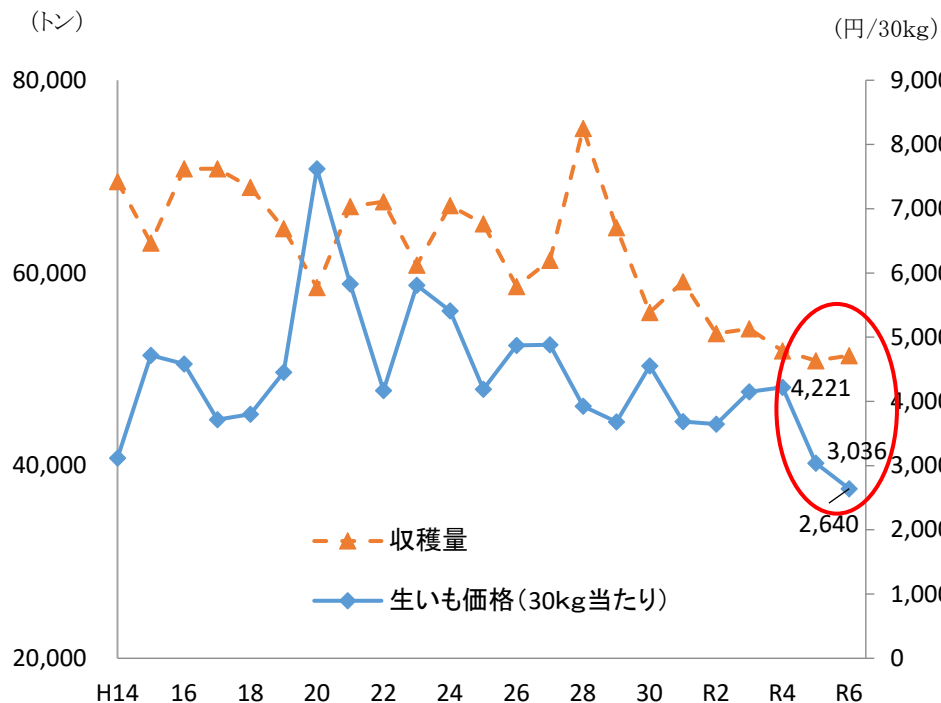


資料：板こんにゃくの小売価格は総務省「小売物価統計」
 注：当該年の1月から12月まで

3 価格動向

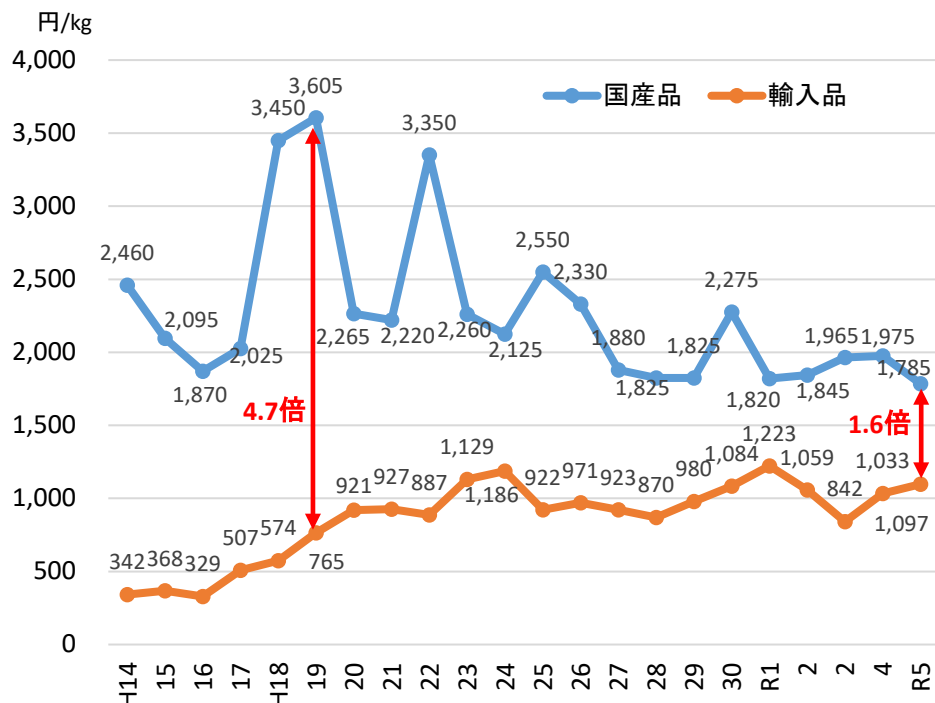
- こんにゃくいもは、気象や病害等の影響を受けやすいため、収穫量の年次変動が大きく、生いも価格も大きく変動している。
- 令和5年産は前年よりも収穫量が減少したにも関わらず、価格が急落。令和6年産は前年よりも収穫量がやや増加し、価格は下落。
- 国産こんにゃくいもと輸入こんにゃくいもの価格差は、近年で最も大きかった平成19年で4.7倍あったものが、令和5年には1.6倍となっている。

【こんにゃくいもの収穫量と生いも価格の推移】



資料：収穫量は農林水産省「作物統計」（当該年産）、生いも価格は「農作物価格統計」（当該年の1月から12月まで）。R6の価格は概算値（税込）。

【国産精粉と輸入精粉の価格の推移】



資料：全国蒟蒻原料協同組合、財務省「貿易統計」（年は当該年の11月から翌10月まで）

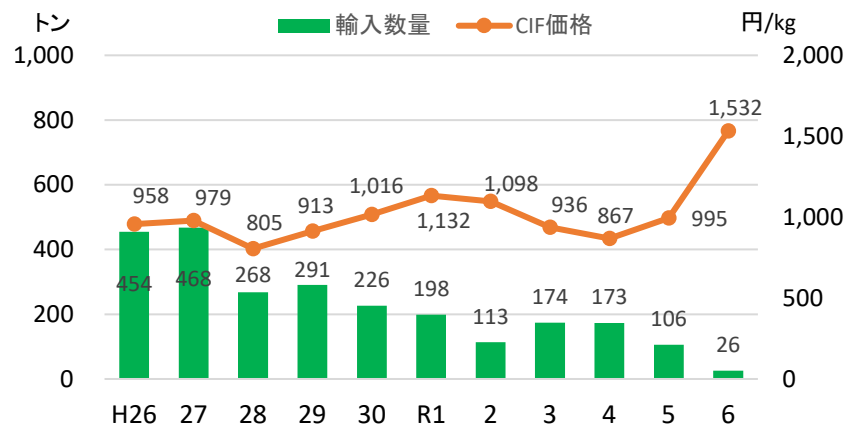
注1：国産こんにゃくいもの価格は、全国蒟蒻原料組合会員による売り渡し価格の平均値（精粉）である。

注2：輸入こんにゃくいもは、CIF価格である。

4 輸入状況

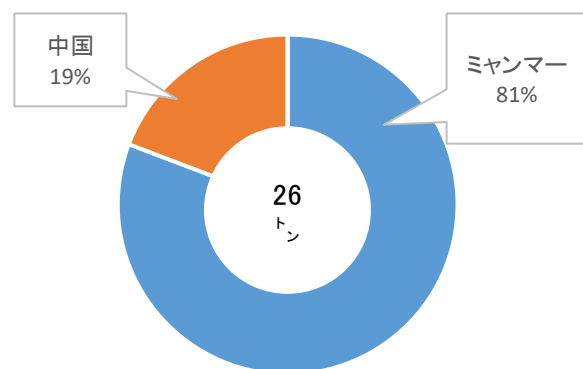
- こんにゃくいもは、平成19年4月にLDC(後発開発途上国)に対する無税無枠措置の対象品目とされ、**ミャンマーを中心に輸入**されているが、輸入量は**平成24度以降は減少傾向**に推移し、令和6年度は平成26年度の1割弱まで減少している。
- こんにゃく製品の**輸入価格は上昇傾向**、**輸入量は減少傾向で推移**しており、**直近10年間で輸入量は半減**している。
なお、**中国から約8割**を輸入している。

【こんにゃくいもの輸入の推移(年度)】



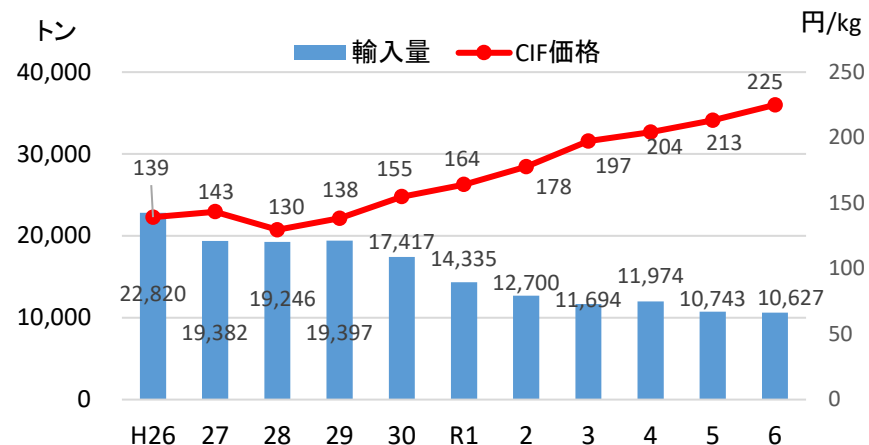
資料:財務省「貿易統計」

- こんにゃくいもの国別輸入の状況(R6年度)



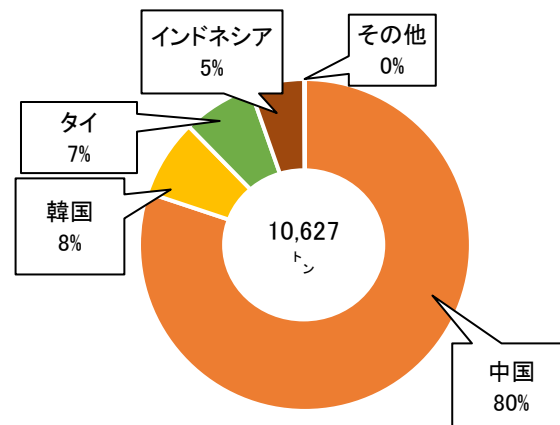
資料:財務省「貿易統計」

【こんにゃく製品の輸入量の推移(年度)】



資料:財務省「貿易統計」

- こんにゃく製品の国別輸入の状況(R6年度)



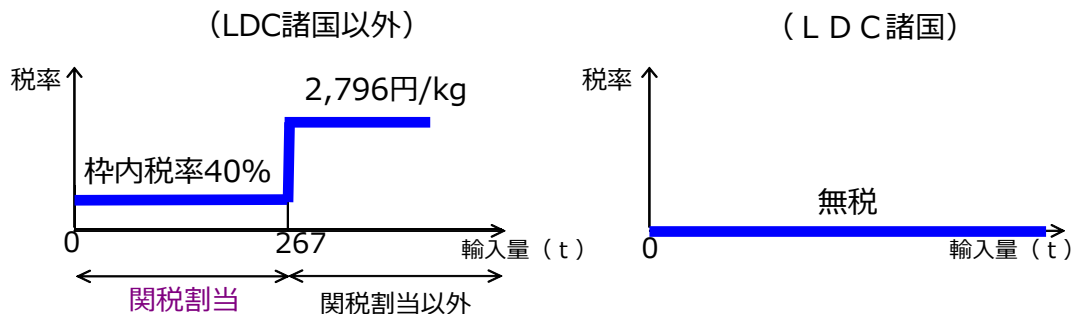
資料:財務省「貿易統計」

(参考1) 特別セーフガード (SSG) の概要について

<数量ベース特別セーフガード>

年度の累計輸入量が、輸入基準数量を超えた場合、自動的に、翌々月以降3月末まで、通常関税の1/3の追加関税を上乗せする仕組み。

<通常時>



**輸入基準数量(R6 : 189 t) を超過した場合
(過去3年平均輸入数量×125%の数量を超える輸入数量)**

<SSG発動時>

発動期間：発動要件を満たした時点の翌々月～当該年度末まで



※関税割当枠（枠内税率40%）で輸入されるこんにゃく芋には、適用されない。

<価格ベース特別セーフガード>

船荷毎の輸入価格が発動基準価格の90%を下回る場合、自動的に、要件を満たした船荷毎に、通常関税+追加関税（発動基準価格と輸入価格の差に応じて最大52%）を賦課する仕組み。

こんにゃく芋（粉）の場合

- ・発動基準価格：665.81円/kg
- ・発動基準価格の90%：599.229円/kg
- ・通常関税：2,796円/kg

<価格ベース特別セーフガードの発動状況>

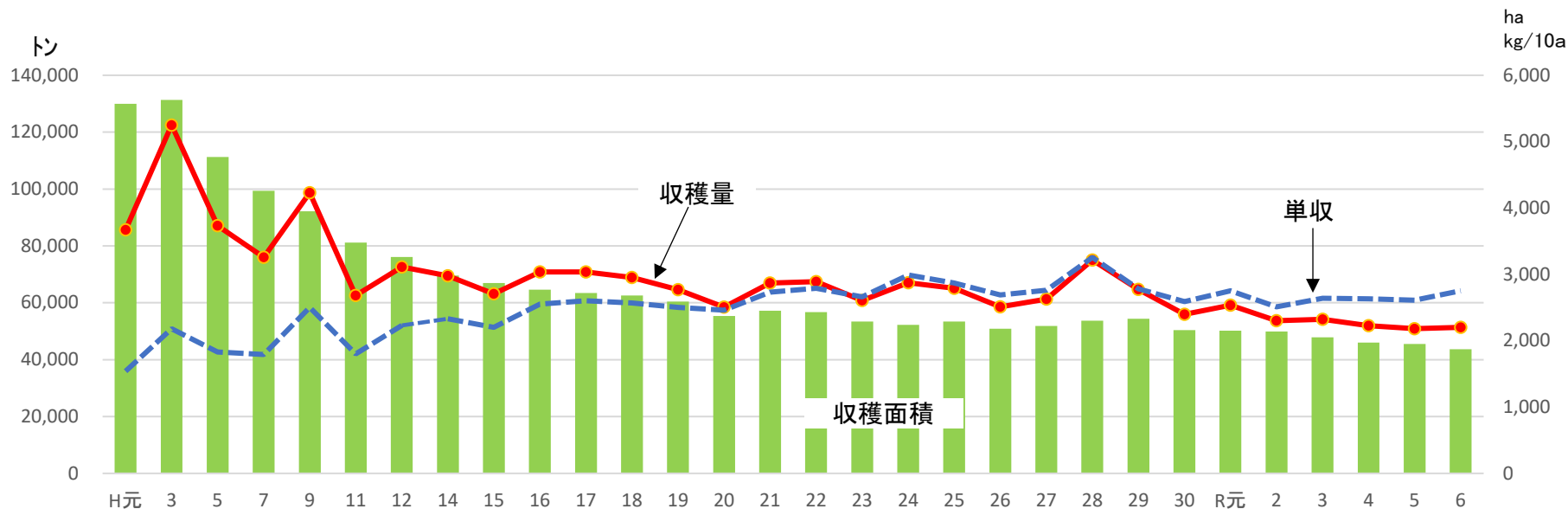
平成15年度1件、平成18年度25件、平成19年度3件、平成20年度1件、平成21年度1件、これまで31件発動されている。

<数量ベースの特別セーフガードの発動状況>

平成20年度：2月1日～3月31日
平成21年度：9月1日～3月31日
平成22年度：7月1日～3月31日
平成24年度：12月1日～3月31日

5 栽培面積等の推移

- こんにゃくいもの栽培面積は長期的には減少傾向で推移している。
- 令和6年産は、収穫面積は前年比4%減、収穫量は前年比1%増の51,400 tとなった。



資料：農林水産省「作物統計」、（一財）日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」

【近年の生産状況】

	R元年産	R2年産	R3年産	R4年産	R5年産	R6年産
栽培面積 (ha)	3,660	3,570	3,430	3,320	3,230	2,910
収穫面積 (ha)	2,150	2,140	2,050	1,970	1,950	1,870
収穫量 (t)	59,100	53,700	54,200	51,900	50,900	51,400
単収 (kg/10a)	2,750	2,510	2,640	2,630	2,610	2,750

資料：農林水産省「作物統計」

6 県別及び品種別の栽培面積等の状況

- こんにゃくいもの収穫量の9割以上を群馬県が占めており、中山間地域の基幹作物として重要な役割を担っている。
- これまで、「あかぎおおだま」が品種別作付面積第1位であったが、**機械植え付けが可能な球状生子が多く、病害に強く、精粉歩留が高い「みやままさり」の栽培面積が拡大し、令和3年産以降は第1位となっている。**

【栽培面積上位5県の生産状況（令和6年産）】

	全国	群馬県	栃木県	茨城県	広島県	島根県
栽培面積（ha）	2,910	2,690	31	29	28	13
	100%	92.4%	1.1%	1.0%	1.0%	0.4%
収穫量（t）	51,400	49,700	401	637	198	24
	100%	96.7%	0.8%	1.2%	0.4%	0.0%
単収（kg/10a）	2,750	2,840	2,230	2,770	1,240	480

資料：農林水産省「作物統計」

**みやままさりの栽培面積が拡大
令和3年産以降は第1位**

単位：ha

【品種別栽培面積の状況（令和6年産・主産県）】

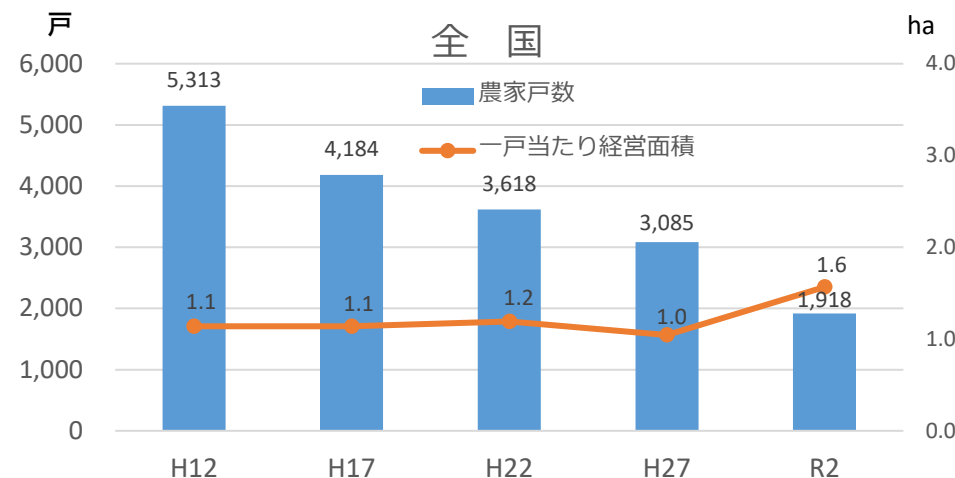
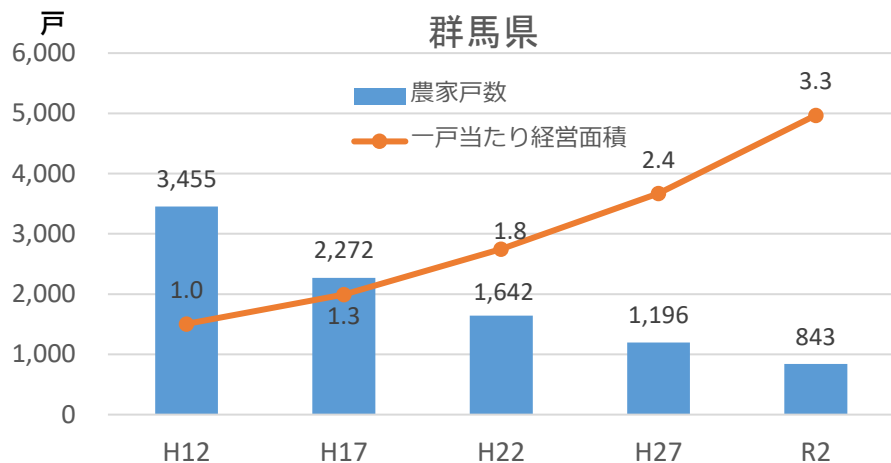
品種名	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	栽培面積	割合	栽培面積	割合	栽培面積	割合	栽培面積	割合	栽培面積	割合	栽培面積	割合
みやままさり	1,570	45.8%	1,632	48.2%	1,634	49.6%	1,646	51.7%	1,658	53.7%	1,499	54.3%
あかぎおおだま	1,686	49.2%	1,638	48.4%	1,573	47.7%	1,455	45.7%	1,387	44.9%	1,230	44.6%
はるなくろ	105	3.1%	47	1.4%	27	0.8%	25	0.8%	21	0.7%	14	0.5%
在来種	59	1.7%	58	1.7%	55	1.7%	54	1.7%	16	0.5%	10	0.4%
みょうぎゆたか	4	0.1%	4	0.1%	4	0.1%	3	0.1%	4	0.1%	4	0.1%
支邦種	7	0.2%	7	0.2%	4	0.1%	3	0.1%	3	0.1%	2	0.1%
計	3,429	100%	3,386	100%	3,296	100%	3,186	100%	3,090	100%	2,759	100%

資料：（一財）日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」

7 群馬県の生産状況

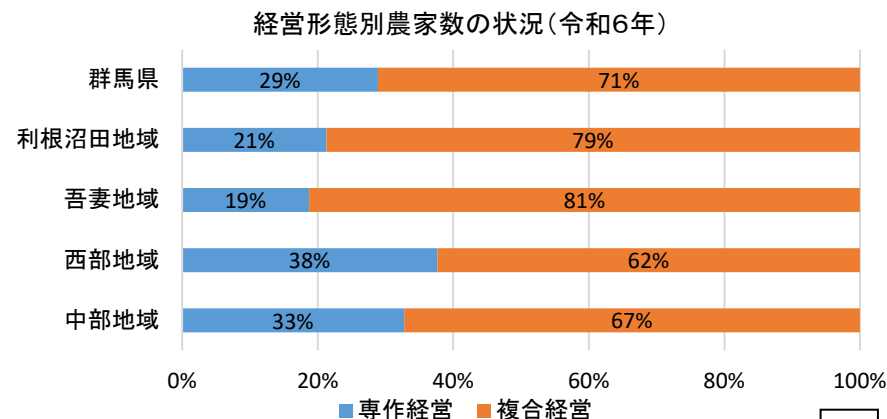
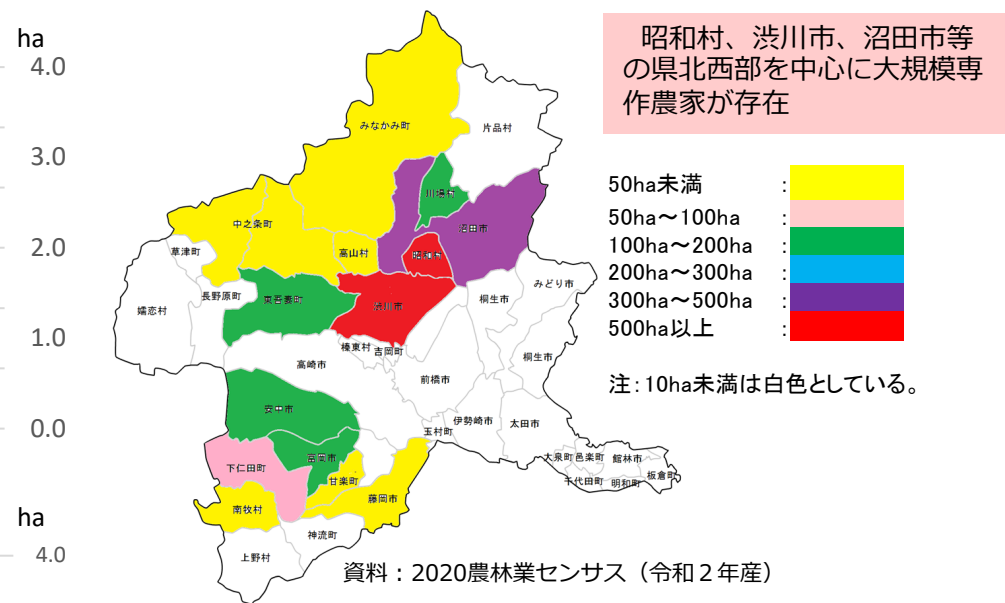
- 主産県である群馬県の栽培農家数は、**20年間で4分の1まで減少**する一方で、**一戸当たり平均栽培面積は20年間で1.0haから3.3ha（全国平均は1.1haから1.6ha）と大幅に拡大**している。
- また、経営形態別では、こんにゃく専作経営が約3割、複合経営が約7割となっている。

【こんにゃくいも栽培農家数及び一戸当たり栽培面積の推移】



資料：農林水産省「農林業センサス」、農林水産省「作物統計」、
（一財）日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」
注：H12までは経営面積30a以上又は販売金額50万円以上の農家

【こんにゃくいもの生産地域】



資料：（一財）日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」

- 近年、群馬県では、農家1戸当たりの作付面積が増加しており、**5ha以上の大規模経営農家の割合は24.5%と4戸に1戸が大規模経営となっている。**

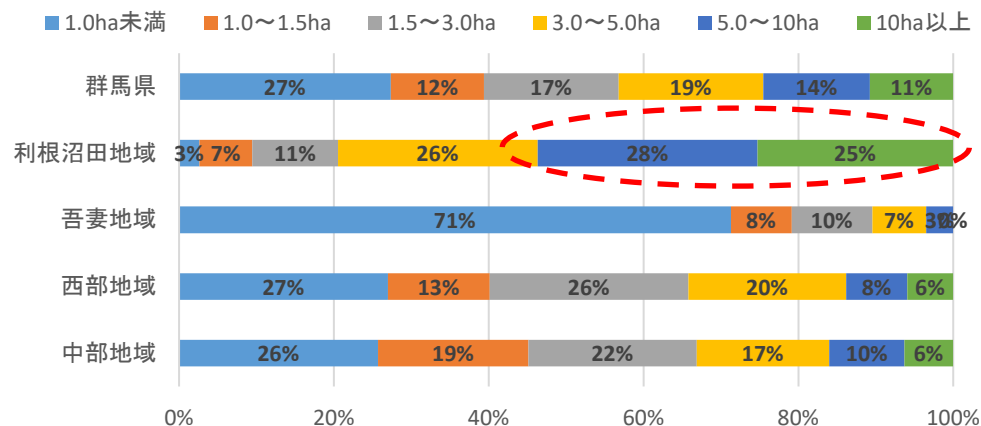
【群馬県のこんにゃくいも生産の状況】

○群馬県内のこんにゃくいもの生産農家数、栽培面積と収穫量

群馬県内	H26	R2	R3	R4	R5	R6	比較 R6/H26
栽培面積(ha)	3,360	3,210	3,130	3,040	2,990	2,690	80%
収穫量(t)	54,200	50,200	51,200	49,200	48,500	49,700	92%
生産農家数(戸)	1,442	917	831	785	719	632	44%
5ha以上(戸)	125	177	175	173	166	155	124%
	8.7%	19.3%	21.1%	22.0%	23.1%	24.5%	283%

資料：栽培面積・収穫量は、農林水産省「作物統計」
生産農家数は（一財）日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」

【栽培規模別農家数割合の状況(R6)】



資料：（一財）日本こんにゃく協会「こんにゃくに関する資料」

利根沼田地域は大規模農家の割合が特に大きい

【大規模経営の例】

	個人・専作	個人・専作
栽培面積 (ha)	16	7.5
労働力 (人)	10～11	10
うち家族	4	4
うち雇用	6～7	6
所有農業機械	トラクター4台、ブームスプレー2台、マルチ同時消毒機1台、植付機2台、掘取機2台、選別機1台、生子選別機1台、フォークリフト3台、トラック4台、など	トラクター4台、ブームスプレー1台、植付機1台、掘取機1台、選別機1台、トラック4台
農業粗収益 (千円)	95,050	53,789
農業経営費 (千円)	74,556	46,211
農業所得 (千円)	20,493	7,578

注：平成24年度及び平成28年度農林水産祭受賞者の例である。

【群馬県におけるこんにゃくいもの生産振興の取組例】

昭和38年5月にこんにゃく生産農家が栽培技術や経営の向上を図ることを目的に、群馬県こんにゃく研究会を設立。渋川、高崎、甘楽富岡、吾妻、利根沼田の5地区から組織され、現在約328名が所属。

研究会の中に流通問題検討部会も組織されており、消費拡大や流通問題についても取り組んでいる。

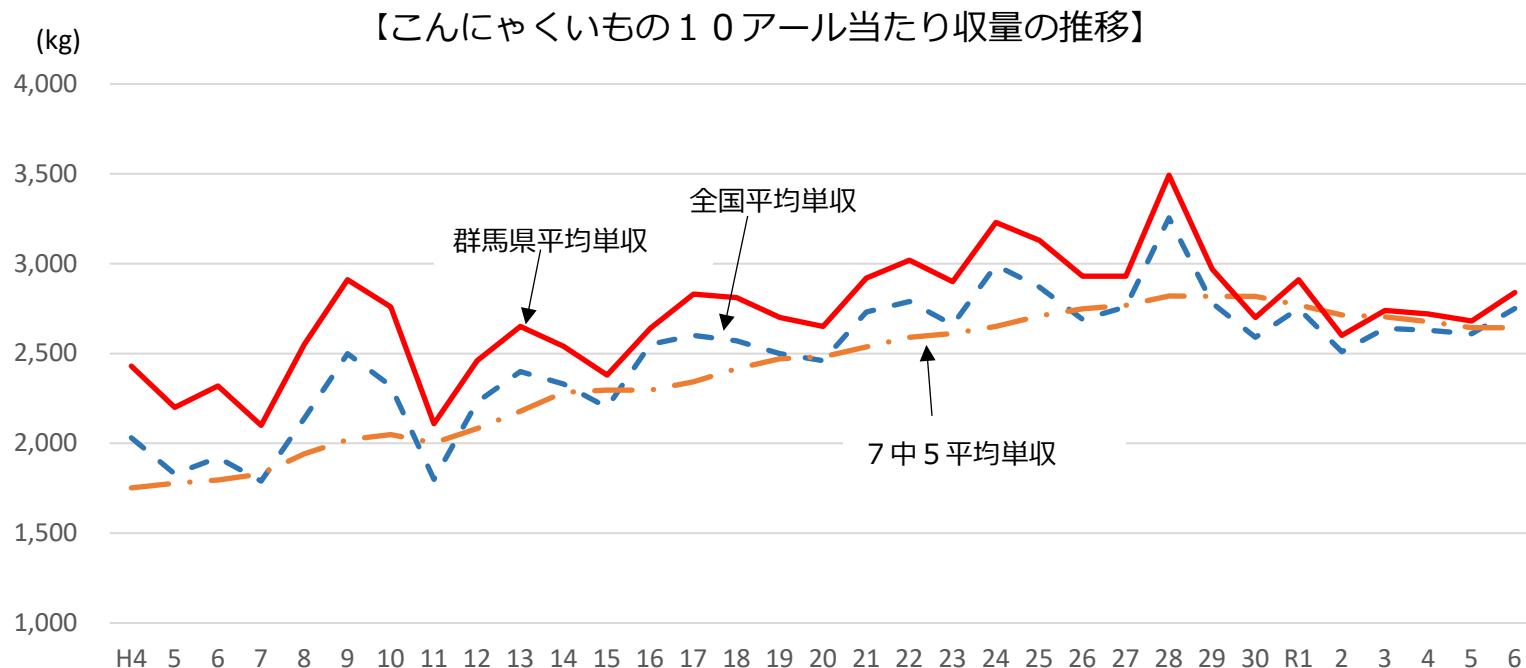
令和6年度は独自にしらたきサラダ推進運動を展開し、各地区での試食会の開催や料理動画クリエイターによる動画制作を実施。

<活動内容>

・生育検討会、現地研究大会、実績検討会、新技術の実証等

8 10アール当たり収量の状況

- こんにゃくいもは、気象や病害等の影響を受けやすく作柄は毎年大きく変動している。
- **10アール当たり収量を7中5平均でみると、耐病性品種の普及、保護作物の導入、土壌消毒や適期防除の徹底等により向上してきたが、近年では伸びが止まっている。**
- **令和6年の作況指数の平年比加重平均は107であり、直近5年間で最も高い数値となった。**



注：10a当たり平均収量は、直近7ヶ年間のうち、最高及び最低を除いた5ヶ年の平均値である。

資料：農林水産省「作物統計」

【こんにゃくいもの作柄の推移】

年産	R元年産	R2年産	R3年産	R4年産	R5年産	R6年産
作況指数の平年比加重平均	102	90	95	94	93	107

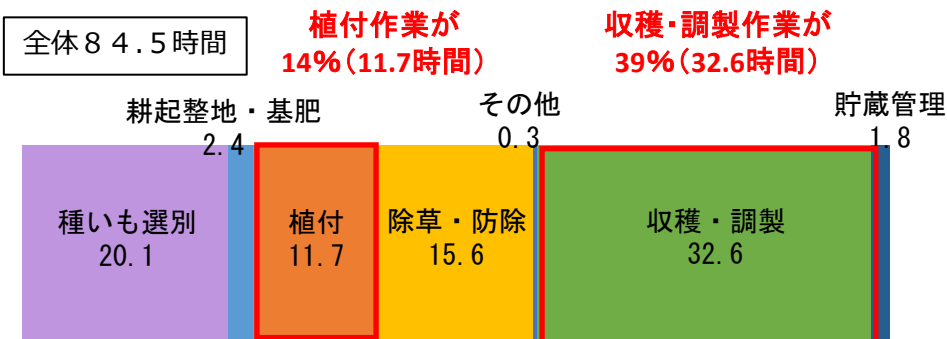
資料：群馬県調べ

注：収穫期における「あかぎおおだま」及び「みやままさり」の1年生、2年生の球茎肥大の作況指数（平年比）を加重平均したもの。

9 労働負担等の状況

- こんにゃくいもの生産に係る作業時間のうち、**植付作業が14%、収穫・調製作業が39%と労働負担が大きい**。植付作業は、機械による省力化が可能であるが、収穫作業については、掘取り、拾い上げ、選別工程を一貫して行う機械化体系が確立していないことから、近年、**大規模経営において雇用労働力の確保が大きな課題**となっている。

【作業別労働時間の状況（令和元年、群馬県、時間/10a）】



資料：令和元年度群馬県農業経営指標調査

【栽培作業体系】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
種いも選別		土壌消毒		植付	病虫害防除			収穫			
											

【大規模農家の労働時間の例（時間/10a）】

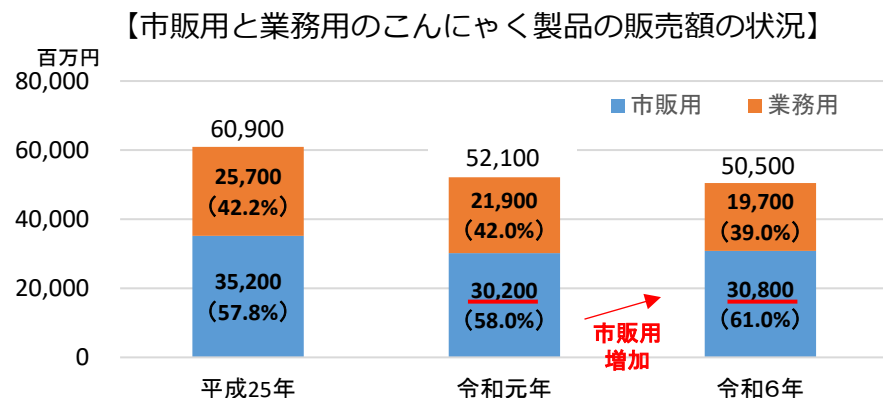
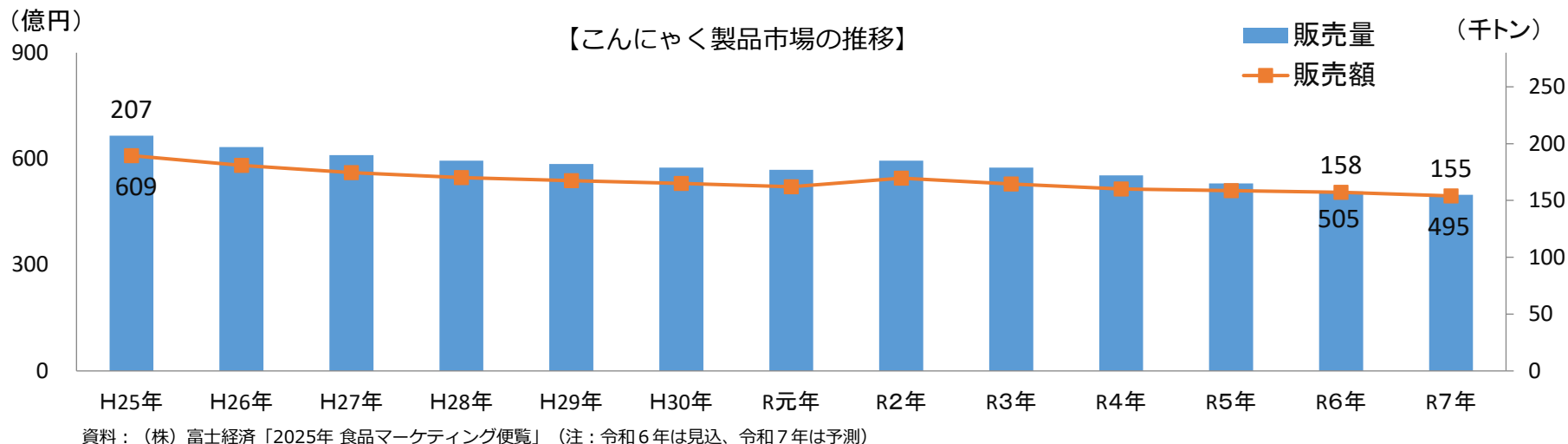
- ・作付面積：16.3ha
- ・労働力：家族4人 雇用 長期6～7名、短期10～30人/日

	作業内容	労働時間 (時間/10a)	群馬県平均 (時間/10a)
全 体	栽培管理	21.7	51.9
	収穫調製	73.0	32.6
	計	94.7	84.5
家族労働	栽培管理	9.4	
	収穫調製	26.4	
	計	35.8	
雇用	栽培管理	12.3	
	収穫調製	46.6	
	計	58.9	

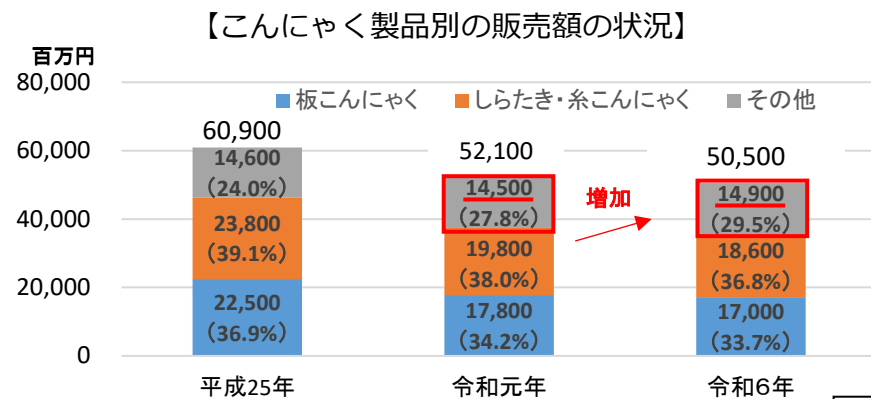
資料：財団法人日本農林漁業振興会「農林水産祭受賞者の業績（平成24年度）」、令和元年度群馬県農業経営指標調査

10 こんにゃく製品の消費動向

- こんにゃく製品の販売額は、**市販用が約6割、業務用（量販店やコンビニエンスストアの惣菜用、外食用等）が約4割**を占めている。**全体の販売量・額は近年減少傾向**にある。
- 市販用は、食生活の多様化、家庭での調理機会の減少等から、販売額は減少してきたが、直近では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の令和元年と比べると、**内食需要の増加により販売額は増加**。
- 業務用は、令和元年と比べると、**外食・中食需要の減少により販売額が減少**している。
- 製品別には、**こんにゃく麺等の需要増加により、その他製品がやや増加**。



資料：H25：「2015年 食品マーケティング便覧」
 R元：「2021年 食品マーケティング便覧」
 R6：「2025年 食品マーケティング便覧」(いずれも(株) 富士経済) 注：R6年は見込



資料：H25：「2015年 食品マーケティング便覧」
 R元：「2021年 食品マーケティング便覧」
 R6：「2025年 食品マーケティング便覧」(いずれも(株) 富士経済) 注：R6年は見込

1 1 需要拡大の動向

- 需要拡大に向けた新商品の開発が行われており、**調理不要で食べられるこんにやくを含んだ惣菜型商品**が開発されている。
- (一財)日本こんにやく協会では**栄養・食生活の指導者、関係者をターゲットとしてパンフレットを配布**している。
- 群馬県ではこんにやくの需要拡大のため、見本市出展や消費拡大イベントの開催等を支援している。

【国内需要拡大のための取組】

【農林水産省「外食産業等と連携した農産物の需要拡大対策事業」新商品の開発事例】

味しみしみこんにやくと大豆ミートの旨煮
(株式会社ウエハラHC)



- こんにやくに大豆などの健康素材を加え、調理不要で食べることができる惣菜系のこんにやく加工品を開発。

【(一財)日本こんにやく協会の取組】

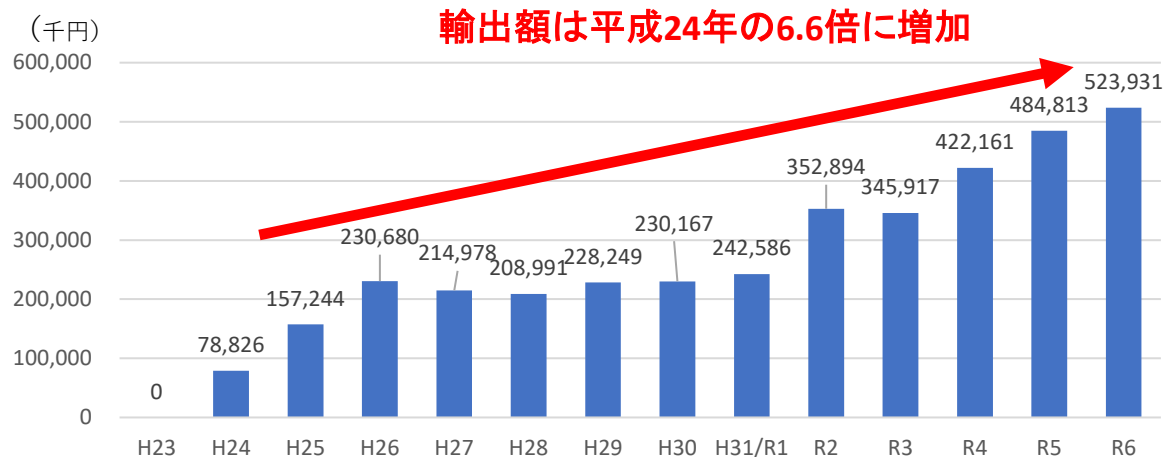


- こんにやくによる健康向上効果として腸内環境改善や便通改善効果、超低カロリー食品としてダイエット効果を積極的にPR。
- 特に栄養・食生活の指導者、関係者をターゲットとし、パンフレットを全国の保健所、各県栄養士会、日本糖尿病認定病院、糖尿病友の会等に約5万部配布(令和5年度)。
- 講習会や栄養指導に活用。

【群馬県におけるこんにゃく輸出の動き】

- 近年、**健康意識の高い欧米等へのこんにゃく製品の輸出拡大**が進んでおり、令和6年の輸出額は5.2億円と、**平成24年の約6.6倍**となっている。
- これまでの東南アジアや欧米に加え、中東や韓国にも輸出されている。

【こんにゃく加工品輸出額の推移】



【輸出相手国・地域】

年度	輸出相手国・地域
平成30年	東南アジア、欧州、北米、香港、その他
令和元年	東南アジア、欧州、北米、香港、中東、豪州・大洋州、その他
令和2年	東南アジア、欧州、北米、香港、その他
令和3年	東南アジア、欧州、北米、香港、豪州・大洋州、その他
令和4年	東南アジア、欧州、北米、香港、中東、豪州・大洋州、台湾、韓国、その他
令和5年	東南アジア、欧州、北米、香港、中東、豪州・大洋州、台湾、韓国、その他
令和6年	東南アジア、欧州、北米、香港、中東、豪州・大洋州、台湾、韓国、その他

【群馬県の実績】



➤ “日本の食品”輸出EXPOへの出展。

注1：群馬県農畜産物等輸出推進機構調べ

注2：群馬県内の企業からの聞き取り調査であって、全ての企業の輸出動向を把握しているものではない。

注3：こんにゃく加工品にはこんにゃくゼリーを含む。

【農林水産省の需要拡大に向けた取組】

- 令和7年1月には農林水産省公式YouTubeチャンネル（BUZZ MAFF）にて、こんにやく動画を公開。
- 5月29日の「こんにやくの日」に合わせ、令和7年5月26日～30日に農林水産省内食堂、キッチンカー、省内売店にてこんにやくフェアを実施。

【BUZZ MAFF】



【こんにやくフェア】

マンナちゃん
(一橋大学農学部産学連携推進センター)

キッチンカー
あふ食堂 等

こんにやく フェア

5月26日(月)～5月30日(金)

5月29日のこんにやくの日に合わせ、
省内食堂等で、こんにやくメニュー・商品を提供！
和食だけでなく様々な食べ方を提案します！

手羽元こんにやく煮 こんにやくキーマカレー 豚汁

こんにやくの魅力！

Point 1	独特の食感で 食事の魅力UP	Point 2	超低カロリーで ダイエットに最適	Point 3	豊富な食物繊維で 腸内環境を改善
---------	-------------------	---------	---------------------	---------	---------------------



玉こんにやくと
豚バラの旨煮

明太白滝



こんにやく製品コーナーを
設置し、様々な商品を販売

- 農林水産省公式YouTubeチャンネル（BUZZ MAFF）にて、こんにやく動画を公開し、しらたきサラダやこんにやく芋からこんにやく製品ができるまで等を紹介。
- 省内食堂やキッチンカーでは、こんにやく入りのキーマカレーなどのこんにやくメニューを提供、省内売店ではこんにやく麺やこんにやくスナックなどのこんにやく製品を販売。
- 数量限定メニューのしらたきサラダが完売、おさしみこんにやくやこんにやくジュレなど複数商品が完売し、好評。

【新規用途開発の事例】

様々な食品へのこんにやくの活用

株式会社 荻野商店
(群馬県甘楽郡下仁田町)

- 通常のこんにやく粉はアルカリ性の凝固剤を加えると固まるが、溶解した後に練るだけで固まる性質をもつこんにやく粉を開発。



- pHによらず様々な液体をゲル化させることができ、冷温・常温のみならず加熱調理にも対応可能であることから、プラントベースハンバーグやグルテンフリースイーツなど幅広い用途での活用が期待される。

蒟蒻屋本舗 株式会社
(埼玉県鴻巣市)

- こんにやくいものグルコマンナンを高濃度に含有させた水溶性液状こんにやくを開発。水分・油分・固体・液体など様々な材料と容易に混合して使用することが可能。



- 水溶性液状こんにやくと大豆をベースとした卵不使用のカロリーオフ・コレステロールゼロのマヨネーズタイプドレッシングや、整腸効果が期待される、デザート感覚で食べられるレモン風味のジュレを販売。

こんにやくを和紙の「ねり」に活用

工房 手漉き和紙 たにの
(埼玉県比企郡ときがわ町)

- 工房の運営者である谷野裕子氏は、埼玉県の伝統的な手漉き和紙である細川紙（ユネスコ無形文化遺産）の技術保持者。

- 和紙を漉く際に使用する「ねり」の原料であるところろあおいの生産量が減少していることから、代わりにこんにやくをねりとして使用した和紙を作成。

- 地元企業である太陽インキ製造（株）から、社屋の内装に地元の素材を活かしたものを使用したいという依頼があり、地元産の武蔵楮とこんにやくねりで巨大な和紙を作成し、エントランスに設置。



(一枚の大きさ：1.6m×8.1m)



(屋外より)

1 2 支援対策

- こんにゃくに関する支援措置として、需要動向に対応した輪作体系の導入など、新たな生産・流通体系の確立に必要な実証等の取組を畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業で支援。
- また、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づく、生産体制の強化等に必要な機械導入や施設整備に必要な経費を産地生産基盤パワーアップ事業で支援。

【こんにゃく関係予算】

名称	畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業 (令和6年度補正予算)
事業内容	○新たな生産体系確立支援事業 ①需要動向等に対応した輪作体系の導入など、新たな生産体系の構築を図るための実証等を支援 ②需要動向に対応した新たな生産体系の構築を図るため、需要のある作物への転換に必要な農業機械等の導入を支援
支援の対象となる取組	検討会の開催、栽培マニュアルの作成、栽培実証に要する管理費や資材費（機械のレンタル費用含む）
対象作物	①小豆、いんげん、落花生、ばれいしょ、かんしょ、てん菜、その他地域の輪作を構成する作物等 ②都道府県知事が地方農政局長等と協議の上、重要度が高いと認めた作物
補助率	①10/10以内（上限1,000万円） ②1/2以内、農業機械リース導入は本体価格1/2以内（上限1,000万円）
事業実施主体	農業者の組織する団体、コンソーシアム 等
予算額	5, 8 2 9 百万円

名称	産地生産基盤パワーアップ事業 (令和6年度補正予算)
事業内容	農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等に対して総合的に支援。 海外や加工・業務用等の新市場を安定的に獲得していくための拠点整備、全国産地の生産基盤の強化・継承、土づくりの展開等を支援。
支援の対象となる取組	貯蔵・加工・物流等拠点施設等の整備、農業機械の導入、集出荷施設等の整備、堆肥や緑肥等を実証的に活用する取組等
支援対象者	地域農業再生協議会等が作成する「産地パワーアップ計画」に位置づけられている農業者、農業者団体等
補助率	施設整備は1/2以内、農業機械リース導入は本体価格の1/2以内等
交付先	基金事業は、基金管理団体へ一括して交付。 整備事業は、都道府県へ交付。
予算額	1 1, 0 0 0 百万円

- 産地の収益力強化と持続的な発展及び食品流通の合理化のため、強い農業づくりに必要な産地基幹施設、卸売市場施設の整備等を強い農業づくり総合支援交付金で支援。
- また、省力化・低コスト化に向けた栽培技術等の実証ほ設置やマニュアル作成、農業機械の改良やリース導入、新商品開発の取組に必要な経費を茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業で支援。

【こんにゃく関係予算】

名称	強い農業づくり総合支援交付金
事業内容	○ <u>産地基幹施設等支援タイプ</u> ・地域農業において中心的な役割を果たしている農業法人や農業者団体等による集出荷貯蔵施設等の産地の基幹施設の導入を支援 ・品質・衛生管理の強化等を図る卸売市場施設、産地・消費地での共同配送等に必要なおストックポイント等の整備を支援 ※ 助成対象：農業用の産地基幹施設（耐用年数5年以上） 補助率：1／2以内等 上限額：20億円等
交付先	都道府県、農業者等
予算額	11,952百万円 （令和7年度予算額）

名称	持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
事業内容	地域特産物について、生産性の向上等による競争力強化を図るため、地域の実情に応じた生産体制の強化、需要創出など生産から消費までの取組を支援。
補助対象	① 生産体制の強化 栽培技術実証ほの設置、マニュアル作成、省力化・低コスト化のための農業機械の改良及びリース、安定生産技術の確立等の取組 等 ② 需要の創出 消費者ニーズ等把握調査、実需者等と連携した商品開発、製造・加工技術の確立の取組 等
交付率	定額、1／2以内
事業実施主体	民間団体等
予算額	1,150百万円 （令和7年度予算額）

(参考1) こんにゃくいもについて

(1) こんにゃくいもとは

こんにゃくいもは、サトイモ科コンニャク属の多年生植物で、東南アジア原産といわれている。我が国では古くから栽培されており、2～3年かけて肥大した球状の地下茎（球茎）がこんにゃくの原料として利用されている。

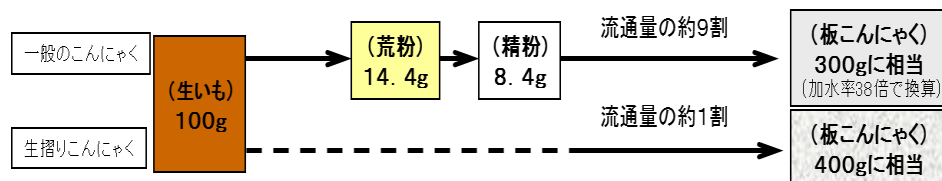
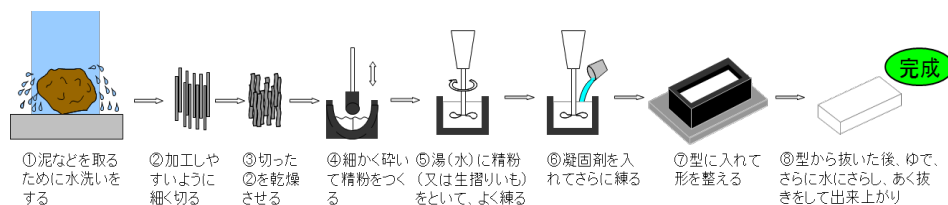
(2) こんにゃくの作り方

生いもを乾燥・製粉した精粉を、3%程度の濃度になるよう水で溶き、水酸化カルシウム等の凝固剤を加えて練るとゲル化して「こんにゃく」ができる。

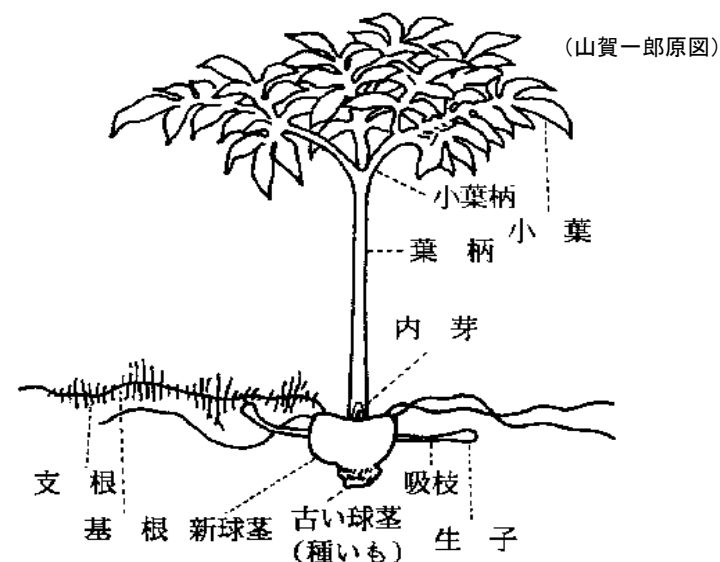
また、生いもをそのまま摺り下ろして、凝固剤を加え、直接こんにゃくを作ることできる（「生いもこんにゃく」「生摺りこんにゃく」）。

成形した後、ゆで、水にさらしてあく抜きを行い、こんにゃくが完成。

【こんにゃくの作り方】



○ こんにゃくいもの形態



【こんにゃくいもの栽培暦】

	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下
1年目	○—○ 植付					□ 収穫	□ いも貯蔵	→
2年目	○—○ 植付					□ 収穫・出荷	□ いも貯蔵	→
3年目	○—○ 植付					□ 収穫・出荷		

【こんにゃくいもの生育】



春に種いもを植えると新しいもができ、そこから地下茎が伸び、秋には生子(きご)ができる。この生子を一度収穫し、次の春に再植付けしたものを1年生、これを秋に収穫したものを2年生、さらに次の春に植えて秋に収穫したものを3年生と呼ぶ。

(参考2) こんにゃく製品の主な種類

- 用途に応じていろいろな種類のこんにゃく製品が製造されている。
- こんにゃく製品は、カロリーが少なく食物繊維（グルコマンナン）が豊富なため、ダイエット効果や整腸作用等が期待される食品。

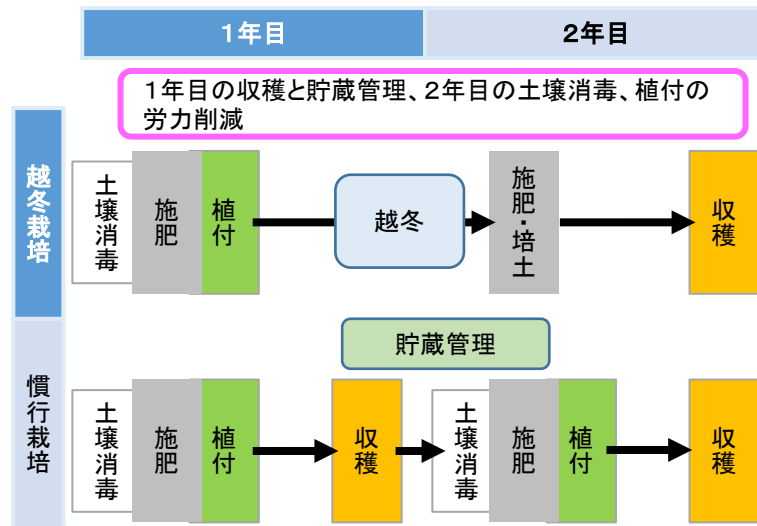
名 称	写 真	商品説明	名 称	写 真	商品説明
板こんにゃく		○こんにゃくのうち、型枠等の中で凝固させ、厚い板状に切ったもの又は包装容器に詰め凝固させ、厚い板状に形成したもの。 ○料理の用途にあった切り方ができ、煮物やおでん等に適している。	粒こんにゃく		○こんにゃくのうち、米粒状に凝固させたもの。 ○色を付けることにより、サラダ等に適している。
生いもこんにゃく		○こんにゃくいも（冷凍したものを含む）を生若しくは蒸煮した後、摺りおろし又はつき碎き製造したもの。 ○芋の皮等が入っているため、独特の歯ごたえがある。用途は板こんにゃくと同じ。	刺身こんにゃく		○こんにゃくのうち、板状又は薄片状に成形し、又は切ったもので、そのまま又は簡単な水洗いすることで食べられるもの。 ○わさび醤油等につけてそのまま食べたりサラダ等にも適している。
しらたき (糸こんにゃく)		○こんにゃくのうち、ひも状に凝固させたもの。 ○短時間で味がなじむため、すき焼き等の鍋物や和え物に適している。	ジャーキー風 こんにゃく		○こんにゃくのうち、板状又は薄片状に成型し、又は切ったものを、釜などで味付けをしたのち、乾燥させたもの。 ○おつまみに適している。
玉こんにゃく		○こんにゃくのうち、玉状に凝固させたもの。 ○煮物やおでん等に適している。	こんにゃく米		○こんにゃくのうち、米粒状に凝固させたもの。 ○お米と一緒に炊くことにより、カロリーを抑えることから、ダイエット食品として、また、糖尿病など低カロリー・低糖質制限が必要な人に適している。

(参考3) 低コスト・省力化栽培技術

- 群馬県においては、生産コスト低減を図るため、労働負荷の大きい植付や収穫作業等の省力化や農薬等の資材費の削減が可能なこんにゃく越冬栽培技術の導入を推進している。
- 経営規模拡大に伴う全量基肥施肥体系等による減収や培土作業時期の他作業との重複に対応し、省力的な作業が可能な培土同時複合作業機の導入も推進している。

【越冬栽培のメリット等】

- こんにゃく越冬栽培は、1年目の掘取りや種いも貯蔵管理作業、2年目の土壤消毒や植付け作業等が省略され、労力の削減可能。
- また、1年目の貯蔵経費や2年目の土壤消毒に関連する農薬や資材等の削減が可能。
- 収穫時のいもの重量は不揃いとなるが、全体の生いも重量は増加し、粗収益が向上。
- 西部地域を中心に53haに導入。



【培土同時複合作業機のメリット等】

- 培土時期は肥料散布のほか、薬剤散布や間作麦播種の作業が重なる。
- 一般的な施肥体系は、施肥を植付け前と培土時に分けて行う方法であるが、経営規模拡大に伴い植付け前の全量基肥体系が増加。一方で、全量施肥により収量減となる場合があり、培土時に施肥可能な複合作業機を導入。
- 培土同時複合作業機は、培土、肥料散布、薬剤散布及び麦播種作業を同時工程で行うことで、慣行作業と比べ作業時間を約7割低減可能。
- 西部地域を中心に22戸の生産者が導入。



- 培土同時複合作業機は、平成30年度から販売を開始。

(参考4) 新たな技術開発

【こんにゃくにおけるグリーンな栽培体系への転換】

(みどりの食料システム推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート: R4~)

- 重要病害である根腐病防除のため、クロルピクリンによる土壌くん蒸消毒を実施。
- 本薬剤は刺激性が強く、環境負荷も高いことから、**代替薬剤への転換**が課題。
- 代替薬剤（キルパー）は農薬使用量を25%削減でき、環境負荷低減が可能。
- 防除効果や収量性がやや劣るため、**ドローンを使用した省力追肥法の検討**や土壌変化の分析（土壌微生物、窒素動態）を実施。

根腐病防除のため、クロルピクリンによる土壌くん蒸を実施

【課題】刺激性が強く、環境負荷が高い

代替薬剤（キルパー）により農薬使用量25%削減可能



+



代替薬剤（キルパー）の収量性をドローンによる生育期追肥で改善

【センシング技術を利用したこんにゃく栽培管理システムの実証・普及】

(委託プロジェクト研究: H30~R4)

- 根腐病の目視による発生率の判定には労力を要する。
- **ドローンによる空撮**を実施し、**ほ場別の発病率から減収率を推定**する技術を実証。
- **ほ場別の収穫量の予測**が可能となるとともに、**種いもの採取場所の選定、次年度のこんにゃくいもの作付計画やほ場管理方法の選択**等の営農計画の検討に活用が期待。
- 令和4年度に生産者用マニュアル及び普及指導員用マニュアルを作成。普及指導員を通じた現場導入を推進。



【課題】
目視による根腐病発生率判定は
労力を要する



ドローンを活用した空撮で減収率を推定

○収穫量の予測
○種いもの採取場所の選定
○次年度作付計画等の検討
などに活用



【こんにゃく栽培における堆肥活用によるコスト低減】(協同農業普及事業による実証: R5~R7)

- 肥効調節型化成肥料を中心とした施肥の場合、**肥料高騰が農業経営を圧迫**。
- **発酵鶏糞を組み合わせた施肥体系で連用による減肥効果と経済性を実証**。